

## 【資料3】

平成 25 年 9 月 9 日

東京電力株式会社

### 現場における汚染水に係る主な問題点・懸念点

#### ○ 計画中の汚染水関連設備信頼度向上対策の速やかな実施

- ・ 汚染水の側溝から海への流出の懸念される箇所への対応
- ・ 降雨等による斜面のすべりに伴う配管の損傷への対応  
(重要配管等が設置されている斜面の降雨による表層すべり、斜面下部の押さえが不十分な箇所の斜面すべり等)
- ・ 防火対策への対応(水処理中央制御室付属の建物等の防火対策)  
など

#### ○ 今回の事故をふまえてのタンクにおける汚染水保管の信頼性確保

- ・ 堰の設置・かさ上げ、堰内地表面のコンクリート化等による土壌への汚染水浸入抑制の検討
- ・ タンクエリア堰排水弁の閉運用の下での微小漏洩の的確な検出
- ・ タンクパトロール強化のためのパトロール要員、力量の確保
- ・ 夜間時タンクパトロールの安全確保  
など

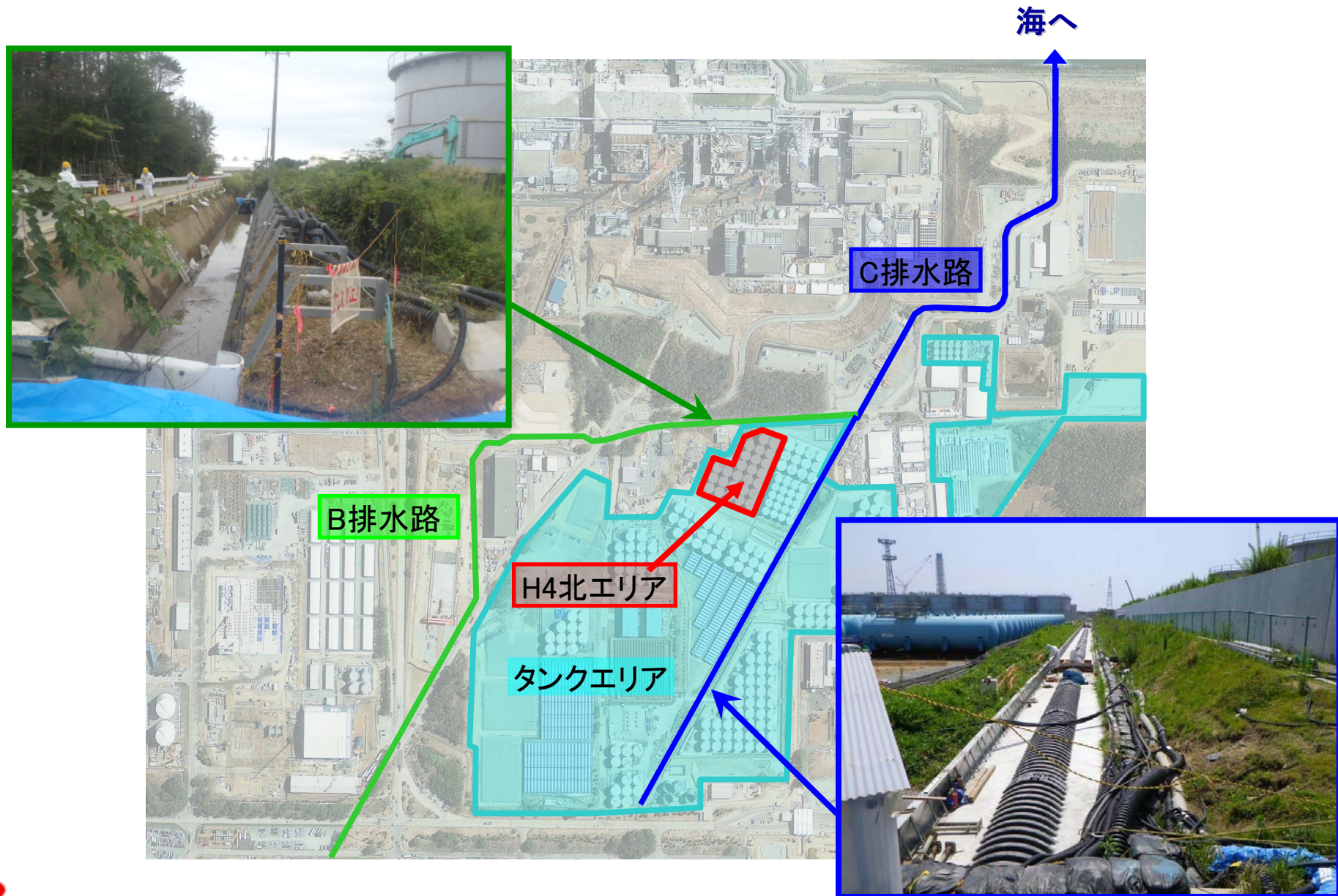
#### ○ モニタリングに係わる信頼性確保

- ・ 汚染水問題に伴うモニタリング項目追加等による要員、機材の確保  
など

#### ○ 現場での建設工事の円滑化・信頼性確保

- ・ 陸側遮水壁の工事が輻輳する現場での工法、工程管理、工事ヤード調整、作業員被ばく管理など

以上



# 斜面のすべり対策

## 処理水の移送ライン



## 水処理中央制御室付属の建物の状況



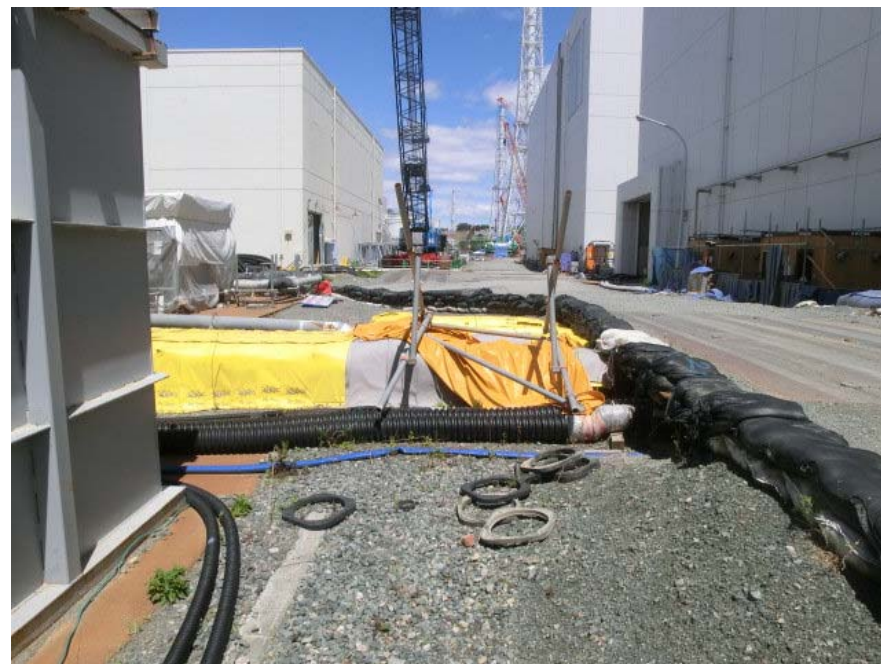
水処理中央制御室へ

# 堰の設置

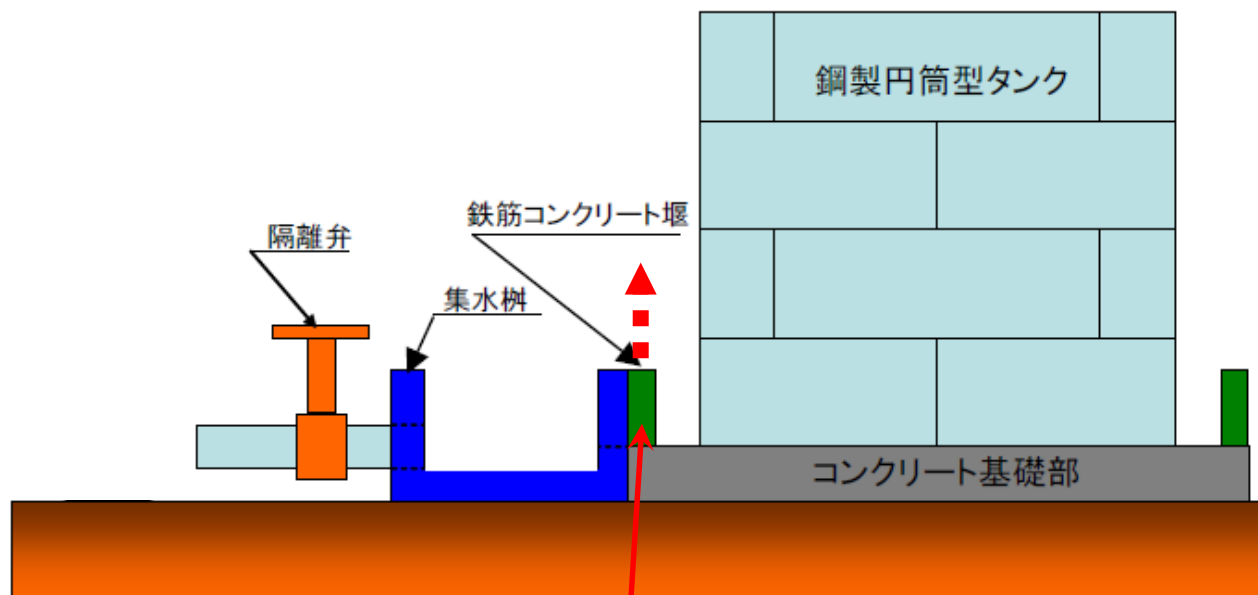
RO濃縮水一時受タンク周辺  
(奥のタンクはRO処理水一時受タンク)



一時受タンクの周辺  
(左のタンクはSPT水一時受タンク)

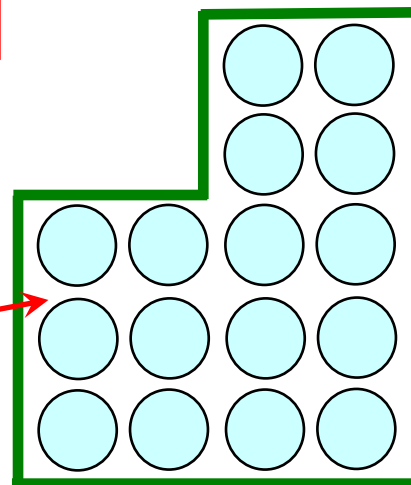


# 堰の嵩上げ



嵩上げ(現行30cm程度)

堰内の貯蔵容量を少なくとも  
1,000トンとする



# 土壤への汚染水浸入抑制

## タンク周辺(堰・土嚢)の状況

(例) 土嚢表面にシート掛け



(例) 地表面の難透水化(コンクリート化など)